

国民健康保険証が更新されます

12月1日に国民健康保険証が更新されます。11月20日頃から、世帯ごとに郵送します。ご確認ください。

■保険証の色と配達方法

現在お使いの保険証（うす紫色か灰色）の有効期限は、11月30日です。12月1日からの新しい保険証（黄緑色）は簡易書留郵便で郵送します。

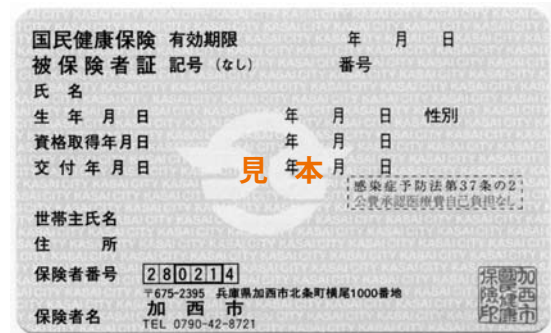
■配達内容物

内容物は、保険証、エイズ予防パンフレット、ジェネリック医薬品（後発医薬品）希望カードの3点です。

■保険証が届かない場合

不在で保険証を受け取られなかった場合は、郵便局で12月5日頃まで保管されます。その後は国保健康課に戻ります。その他ご不明な点は下記までお問い合わせください。

【問合先】 国保健康課(国保医療担当) ☎④8721 FAX④1792 kenko@city.kasai.lg.jp



一般被保険者証（縦 5.4cm×横 8.6cm）

大腸がん検診・乳がん検診・子宮がん検診を受けましょう

大腸がん検診をより多くの方に受けていただくため、国のがん検診推進事業として右の年齢の方を対象に大腸がん検診無料クーポン券と検診手帳を10月初旬に送付しています。ぜひこの機会に検診を受け、健康管理にお役立てください。対象の方で、クーポン券が届いていない場合は下記までご連絡ください。

また、乳がん検診、子宮がん検診についても対象の方に5月末に無料クーポン券を送付しています。まだ検診を受けていない方は、早めに指定の医療機関で検診を受けてください。

■検診無料クーポン券対象者

大腸がん検診	昭和45年4月2日～46年4月1日生まれ 昭和40年4月2日～41年4月1日生まれ 昭和35年4月2日～36年4月1日生まれ
乳がん検診	昭和30年4月2日～31年4月1日生まれ 昭和25年4月2日～26年4月1日生まれ
子宮頸がん検診	平成2年4月2日～3年4月1日生まれ 昭和60年4月2日～61年4月1日生まれ 昭和55年4月2日～56年4月1日生まれ 昭和50年4月2日～51年4月1日生まれ 昭和45年4月2日～46年4月1日生まれ

※検診無料クーポン券の有効期限は平成24年2月末日です

【問合先】 国保健康課健康担当 ☎④8723 FAX④7521 kenko@city.kasai.lg.jp

健康講習会「循環器の疾患について」を開催

加西市医師会の先生を講師に招き、健康に関する講習会を開催します。

今回は、冬場に特に注意する必要がある循環器の疾患についてお話していただきます。



日時／11月24日（木）13:30～15:00

場所／健康増進センター（市立加西病院敷地内）

講師／安積 啓 医師（加西市医師会 安積医院）

定員／50名（先着順）参加無料

申込／下記へ電話でお申し込みください

【問合先】 健康増進センター ☎④3621

【お詫びと訂正】 広報かさい10月号7頁に掲載しました「特定不妊治療費助成事業」について、「平成23年9月以降の兵庫県特定不妊治療費の助成決定分から助成対象になります」は誤りで、正しくは「平成23年10月以降」でした。お詫びして訂正します。

加西病院のコーナー

加西病院ホームページ <http://www.hospital.kasai.hyogo.jp>

剖検(ぼうけん) 承諾も病院を守る支援の一つ

■第5回加西病院市民フォーラムを終えて

9月26日に加西病院市民フォーラムが開催されました。市民フォーラムの趣旨は加西病院が地域の中で元気に発展していけるよう、病院の実情を市民の皆さんに発信し理解と支援を得ることにあります。今回、自治体病院の研究者として名高い伊関友伸教授に「地域医療再生への処方箋」と題した講演を頂きました。加西市を外側から見た意見が聞けるとあって、たくさんの市民や議会・行政からの参加を頂くことができました。

■伊関教授の講演

伊関教授の講演内容は、①今、日本医療の問題は国民の医療ニーズに対し医療提供力が絶対的に不足していることにある、②医療現場では救急やインフォームドコンセントなど医師の束縛と医療環境の劣化が進んでいる、③医師人材に余裕があり高度化を進める病院には一層医師が集まり、逆の病院はますます医師を失って衰退する二極分化が進んでいる、④このような事態を理解しない住民による地元病院への不満が地域医療の荒廃に手を貸している、⑤自治体病院を持つ市では国保地域差指数が低く、妥当な医療に基づく医療費の節減がなされている、⑥地域病院を守るために住民ができることは、(1)出来るだけ地元の病院を受診する、(2)受診は日中に行い夜間休日の救急受診を減らす、(3)孤立して生きる不安は病院に受診しても解決しないと知る、(4)自分の健康は生活習慣を改善することで自ら守る、(5)不安・無理解・人任せが地元病院を失わせる、(6)自分のことしか考えない住民ばかりの土地からは医師達が立ち去り、後には病院という建物だけが残る、(7)医療者への共感を持ち人と人をつなぐ取り組みをしよう、(8)地域医療を守るのは市民の努力次第、というものでした。

■講演後の対談

講演後に伊関教授と対談を行い、加西病院は集めるのが難しい臨床研修医はじめ医師看護師達が集まっているところが素晴らしいとお誉めの言葉がありました。ただ、北播磨総合医療センター、加古川メディカルセンターの統合病院を目前に控え、前途は容易でないと認識でした。加西病院が志向する中規模であっても高機能で幅広い診療科を揃え、それらが有機的に連携して、医療者には安心を患者には安全を提供する体制を育て遣り甲斐のある病院を築くしか、新築される統合病院に医療者が移ってしまうのを防ぐ手立てはないと私も考えています。

■剖検の奨め

では加西病院を守るために市民にできることは何か。講演内容⑥の(1)～(8)はもちろんですが、病院が今助けて欲しい支援を行うことも大切です。

具体的な事柄になりますが、加西病院では死後病理解剖（剖検）の不足に苦しんでいます。剖検は、亡くなった方の体の中を病理解剖で見せて頂き、病気の本態と治療の結果を知り、明日の医療に活かすための手段です。また、医療者を育てるための病院として必須の制度的要件です。加西病院が元気に市民の皆さまに質の高い医療を届け続けるため、剖検への依頼に是非ご承諾を頂けますようお願いする次第です。

（病院事業管理者・院長 山邊裕）



【写真】第5回加西病院市民フォーラム。自治体病院研究者として名高い伊関教授との対談を行いました。

いい歯の代表 8020達成者を表彰

加西市歯科医師会と加西市は、80歳になっても自分の歯を20本残そうという取り組み「8020運動」を進めています。今年度、その達成者として次の皆さんが表彰されました。

■8020運動達成者（五十音順）

飯尾 幸	井澤しづ子	石井利秋	大西正男	岡タケノ	岡 竹博	小川かめの	小倉長次
織田諏訪子	垣内百合子	金澤義博	河原正子	衣笠節夫	小谷明生	小東正雄	繁田達吉
菅野茂和	高田実巳	高見千代枝	高見文子	竹内信照	谷口とみ子	東一 素	東羅重光
友藤節雄	中植 修	中川岩雄	西川乃ぶ子	濱口藤子	原戸靖子	藤本昭代	藤本ミヨ子
藤原美千代	堀川貞一	堀川豊子	前川鉄次	森井忠男	森川正美	森本多津子	吉開雪男

「敬老月間ふるさと芸能大会」で、達成者を表彰。

11月8日は「いい歯の日」。皆さんも8020を目指し、健康な歯を保ちましょう。

【問合先】 国保健康課健康担当 ☎④8723 FAX④7521 kenko@city.kasai.lg.jp